授業科目名	社会福祉の原理と政策	単位数	4
担当教員名	豊田　宗裕	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係
本科目は共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲の助長を担うべきものである。
共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ
社会福祉の原理として基本となる考え方や理論等について学習し、そうした考え方を踏まえて社会福祉政策の方向性やその考え方がどのように変化しているのかを理解する。そのうえで、今後の福祉政策の在り方や考え方について説明ができるようにする。
＊授業終了時の到達目標は、以下のとおりである
（１）わが国における社会福祉理論の考え方や理論について理解し、それがどのように変化しているのかを説明できる。
（２）我が国の福祉政策の変遷について理解し、それを欧米諸国との比較の中で説明できる。
（３）福祉政策の構成要素やその内容を理解し、今後福祉政策がどのように変化していくか、それは何故かについて説明できる。

授業の概要
授業全体で習得すべき項目は、次の7つの項目である。
（１）社会福祉の原理をめぐる思想・哲学について学ぶ
（２）社会福祉の歴史的展開過程と社会福祉の理論をおさえ、欧米との比較の中で日本の特性について学ぶ
（３）現代の社会問題について、社会構造との関係から学ぶ
（４）福祉政策の概念や理念について学ぶ
（５）福祉政策の動向を踏まえ、関連施策や包括的支援について学ぶ
（６）福祉サービスの供給と利用のプロセスについて学ぶ
（７）福祉政策の国際比較の視点から、わが国の特性について学ぶ

授業計画
第１回：社会福祉の考え方（定義）と福祉政策の枠組みについての理解
第２回：わが国の社会福祉の思想と歴史についての理解
第３回：欧米の社会福祉の歴史についての理解
第４回：社会福祉の思想と哲学について学ぶ
第５回：第二次大戦後の社会福祉理論の考え方について学ぶ（わが国の理論・欧米の理論）
第６回：社会福祉におけるニーズと需要について学ぶ（ニーズの意味とその対象・種類）
第７回：現代における社会問題について学ぶ
第８回：福祉政策の概念・理念（考え方）について学ぶ
第９回：福祉政策におけるニーズと資源の考え方について学ぶ
第１０回：多元化する福祉サービスの提供方式とその特徴について学ぶ
第１１回：福祉政策の展開過程について学ぶ
第１２回：福祉政策の動向とその課題について学ぶ①(社会福祉法・地域共生社会と包括ケア)

第１３回：福祉政策の動向とその課題について学ぶ②(持続可能型社会と多文化共生) 第１４回：福祉サービスの利用過程における内容と問題について学ぶ 第１５回：福祉政策の国際比較と今後の福祉政策の課題・展望 定期試験
教科書 一般社団法人日本ソーシャルワーカー教育学校連盟（編）『最新　社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座４　社会福祉の原理と政策』中央法規出版　２０２１年
参考文献 （１）古川孝順　『社会福祉の拡大と限定―社会福祉学は双頭の要請にどう応えるか』 中央法規　2009 年 （２）日本社会福祉学会編　『福祉政策理論の検証と展望』中央法規　2008 年 （３）山縣 文治（監修）・福田 公教・石田 慎二（編）『社会福祉の基礎資料』 ミネルヴァ書房　最新版 （４）一般財団法人厚生統計協会『国民の福祉と介護の動向』最新版 （５）厚生労働省『厚生労働白書』　各年版
学生に対する評価 レポート評価（５０％)、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。